

# 株式会社レインボーライン

平成28年度

## 索道安全整備報告書



## 1. 利用者の皆様へ

日頃よりレインボーラインをご利用いただきますとともに、索道事業に対する御理解を賜り誠にありがとうございます。

弊社は、索道事業（リフト運行）理念において、「お客様の安全確保」を第一に掲げ、「法令順守」のもとに点検整備の実施や訓練など安全輸送に努めております。

その結果、平成 28 年度も多くのお客様にご来場いただきました事、および重大な人身事故・運転事故なく年度末を迎えられました事を厚く御礼申し上げます。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について自ら振り返るとともに広くご理解を頂く為に公表するものです。

今後更に、輸送の安全確保に役立てる為の貴重な御意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社 レインボーライン  
代表取締役 森下 裕

## 2. 経営理念と安全方針および安全目標

### (1) バランス経営の堅持

株式会社レインボーラインは他に類の無い景観の提供を通じて、

- ① お客様（観光客）に楽しんで頂き、
- ② 株主に安心と満足を頂き、
- ③ 4 事業部門の全社員が喜びを感じる、  
バランスのとれた経営を目指します。

### (2) 安全方針

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令および関連する規定をよく理解するとともにこれを遵守し、  
厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全が確保されていることを把握し、安全の確保のための仕組みや機能を理解するように努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義ある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は洩れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むように努めます。

### (3) 安全目標

安全目標は次表の通りです。平成 27 年度、索道運転事故および施設の不具合による事故は発生しませんでした。引続き目標達成に向け取り組む所存です。

区 分	項 目	内 容
定量的な目標	設備不具合による事故	乗客の死亡を伴う事故を発生させない。
	索道運転事故	1 年間の発生件数を 0 とする。

## 3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

### (1) 索道運転事故

平成 28 年度について、索道事故の発生はありませんでした。

### (2) 災害（地震、暴風、豪雪等）

平成 28 年度について災害による運行停止はありませんでした。

尚、強風・濃霧による運行停止は、状況により安全確保のために実施いたしました。

### (3) インシデント（事故の前兆）

平成 28 年度、国土交通省へのインシデントの報告はありませんでした。

### (4) 行政指導

平成 28 年度、監督官庁からの行政指導はありませんでした。

## 4. 輸送の安全確保の為の取り組み

### (1) 人材育成

①弊社は通年営業の為、常日頃の安全に対する意識付けや必要時に安全教育を実施しています。後継者育成の観点から 1 カ月点検や救助用の動力切り替え等の実技講習を中心に実施しています。



(救助訓練 H28 年 4 月 23 日実施)

## (2) 緊急時対応訓練

全電源喪失発生を想定しての訓練を実施しています。リフト係員は悪天候のなかでも係員全員が各持場でどの様に行動したら良いかといった目線で訓練に臨んでいます。



(救助訓練 H28年9月22日実施)

## (3) 安全確保の為の諸施策

### ① 始業点検

施設や索道設備の目視点検、試運転時の状況を確認します。

### ② 1カ月点検 (毎月実施)

始業点検より更に細かく点検。

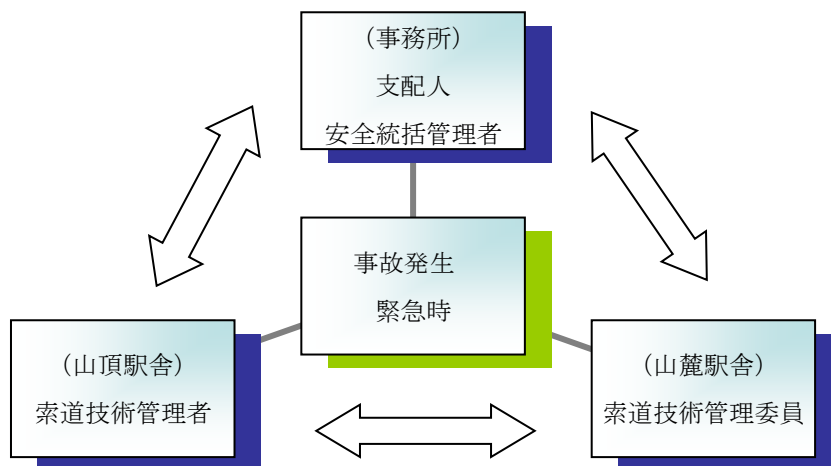
### ③ 1年検査 (年間通じての点検)

弊社規定の基準適合書 (法定基準) に基づきより細かく点検整備を行う。

### ④ 緊急連絡体制

弊社では様々な旅客が利用する為、係員は旅客の乗降時及びホームや線路上の監視に注意を払い、緊急時に迅速に対応できるよう常に安全を意識しています。輸送の安全を確保する手段の一つとして、携帯用無線機を使用する事により山麓・山頂・事務所の3ヶ所を同時に連絡する手法をとっています。これにより乗降状況を事前に把握する事が可能となっています。また、索道設置場所から離れた本部 (事務所) との連絡が可能な事から、停電や電話の故障があっても旅客や係員の状況把握、救助活動など緊急時の迅速な対応も可能となっています。

### 《無線機連絡体制》





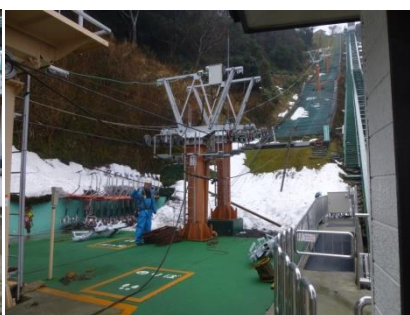
⑤設備投資・整備の実績状況

平成 28 年度 第 1 リフト設備投資・整備の実績報告（第 2 リフト休止中）

No.	設備投資・整備の内容	計画時期	実施時期および結果
1	油圧緊張・油圧制動ユニットオイル交換	平成 28 年 6 月他	平成 28 年 2 回実施 油圧緊張 1 回 制動機 2 回
2	脱索検出装置配管の更新	平成 28 年 6 月～9 月	平成 28 年 6 月実施
3	握索機オーバーホール	平成 29 年 1 月	平成 29 年 1 月実施
4	鋼索条・折り返し滑車軸交換	平成 29 年 2 月～3 月	平成 29 年 3 月実施
5	1 号支柱 B 索受装置の更新	平成 29 年 3 月	平成 29 年 3 月実施

\*以下は平成 28 年度整備作業「索条・折り返し滑車・索受け更新」関連の写真です。

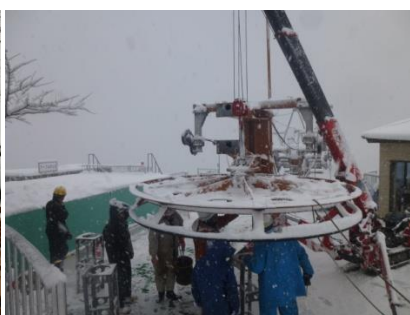
平成 29 年 3 月 6 日～29 年 3 月 10 日実施分



鋼索交換



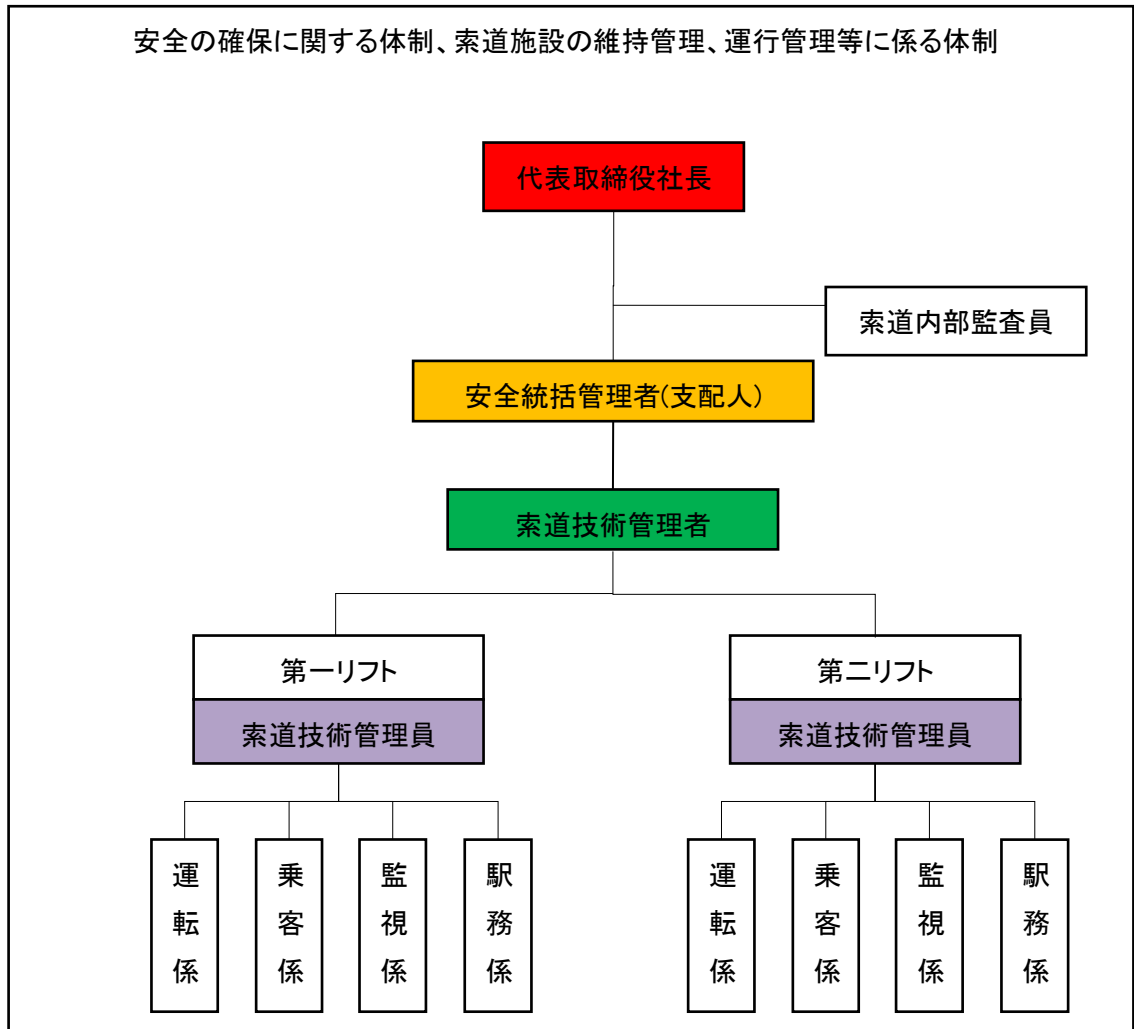
索受交換



折返滑車軸整備

5. 安全管理体制

安全統括管理者のもと安全管理規定を作成し、索道安全管理組織を構築、各責任者の責務を明確にしています。



< 役 職 >

代表取締役社長  
支配人

安全統括管理者  
索道技術管理者

索道技術管理員

< 役 割 >

- ・・・ 索道の輸送の安全確保の最終的な責任を負う。
- ・・・ 輸送の安全確保に必要な設備投資、人事、財務に関する業務を統括する。
- ・・・ 索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
- ・・・ 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他の技術上及び係員教育等の事項に関する業務を統括管理する。
- ・・・ 索道技術管理者の指揮の下、索道技術者の行う業務を補う。

## 6. 終りに

安全管理規程により安全確保を第一に掲げ、基本動作の徹底を堅持してまいりましたが、平成 28 年度は安全管理について徹底を図る事ができました。

これを踏まえ、来期につきましても、お客様が安全・安心・快適にご利用いただき、よりご満足いただけます様設備の充実、整備、運行管理に努め、更なる安全管理の向上、顧客満足度の向上を図ってまいります。

安全報告書へのご感想、弊社の安全への取り組みに関するご意見をお寄せ下さい。

〒919-1301

福井県三方上中郡若狭町気山18-2-2

株式会社レインボーライン 管理事務所

TEL 0770-45-2678 (代)

FAX 0770-45-1833

E-mail [info@mikatagoko.com](mailto:info@mikatagoko.com)